

薬剤耐性菌とは？

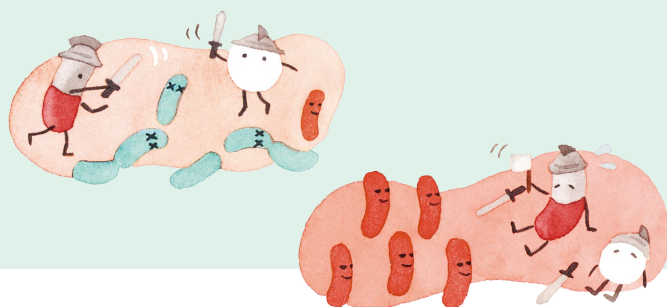
「薬剤耐性菌」とは、抗菌薬が効かない、もしくは効きにくい細菌です。私たちの体の中では無数の細菌(常在菌)がバランスを保ち健康環境を守っています。

抗菌薬を飲むと、体の中の細菌のバランスが崩れ、薬剤耐性菌が増えやすくなります。また一部の菌が、抗菌薬から逃れるために薬剤耐性菌に変化してしまうことがあります。

薬剤耐性菌を増やさないために

抗菌薬が必要な時以外は飲まないようにすることが重要です。急性咽頭炎の多くはウイルスの感染なので抗菌薬は効きません。

また、抗菌薬が必要と判断され処方された時は、指示されたのみ方でのみ切ってください。抗菌薬を中途半端に使用してしまうと、菌が死にきらずに耐性化することがあります。



患者のみなさまへ

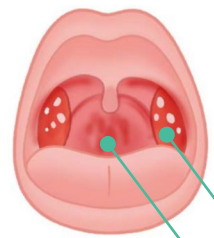
急性^{いん}咽^{とう}頭^{えん}炎

のどの痛みが主な症状です

主にウイルスが原因ですが、細菌が原因となることもあります



急性咽頭炎



のどの奥に炎症が起こることを咽頭炎と言います。主な原因はウイルスによる感染ですが、菌が原因となることもあり、**細菌による咽頭炎と判断**された場合は抗菌薬が処方されます。

扁桃が赤く腫れる白い膿がつくこともある

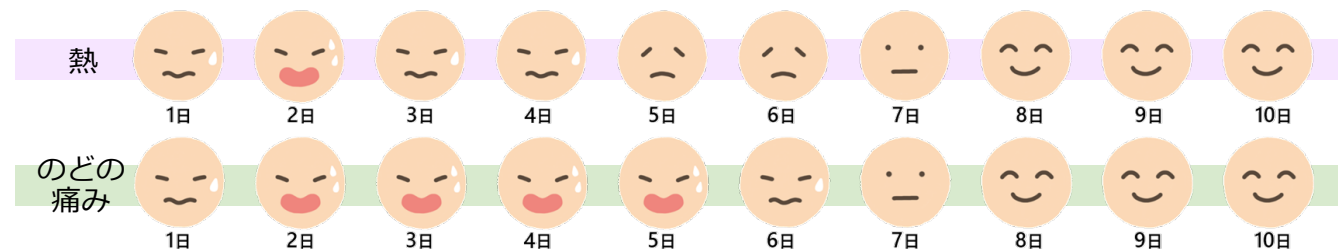
のどの奥が赤くなる



◆これからの症状は？

- ・3日目くらいまではのどの痛みがひどかったり、熱が続いたりします。
- ・頭痛や咳も出ることがあります。
- ・7-10日間でだんだん良くなっていきます。

一般的な症状の強さの変化



◆治療は？

- ・ゆっくり休んで、栄養をとみましょう。
- ・ほとんどの場合、ウイルスに感染して症状が出ているので、抗菌薬はのんでも効果がありません。自分の免疫で治っていきます。
- ・のどの痛みは痛み止めで和らげることができます。
- ・ただし、細菌性と判断された場合、抗菌薬を処方されます。**用法用量を守ってのみ切りましょう。**

溶連菌 (A群溶血性連鎖球菌) について

- ・**成人の咽頭炎**の10%程度が溶連菌によるものと言われています。
- ・細菌による感染なので抗菌薬が有効です。
- ・抗菌薬は症状が治っても細菌が残ることがあるので最後までのみ切ってください。



再度受診が必要な場合

最初は自分の免疫で治る咽頭炎と思って、後から別の病気だとわかることもあります。下記の症状に当てはまる時は、もう一度受診しましょう。

- ☐ 呼吸がしにくい、またはのどがつまる感じがしてきた
- ☐ のどの痛みでのみ込むのが難しく、食事や水分を摂れない、痛み止めの効果がない
- ☐ 唾をのみ込むことも難しく、唾液がだらだら口から出る
- ☐ 口が十分に開けられない
- ☐ 声がこもった感じがする
- ☐ 4日以上経っても38℃以上の熱が続く
- ☐ 息を吸うときに、のどがつまった感じやヒューヒューという音がする
- ☐ 経過に不安がある



【抗菌薬とは】

抗生物質といわれることもあります。病気の原因となる細菌を殺したり増やさなくする薬です。

【ウイルスに抗菌薬は効きません】

- ・抗菌薬は細菌をやっつけるものです。そのため、ウイルスの感染症には抗菌薬は効きません。
- ・不必要に抗菌薬を使うと、**抗菌薬が効かない細菌 (薬剤耐性菌)**ができる可能性があります。薬剤耐性菌ができると、今後、抗菌薬が必要な病気の時に使える抗菌薬が少なくなり予防や治療がうまくいかなることがあります。
- ・抗菌薬をのむと、下痢、吐き気や発疹などの副作用がでることがあります。



*免疫を低下させる薬をのんでいる方、肺や心臓に病気がある方は違った経過になることもあります。主治医の先生とよくご相談ください。